導入実績1800店以上！

「メニウくん」の実力徹底解剖

飲食向けセルフオーダーシステム導入実績No.1の理由。それはさまざまな業態や店舗規模に対応する、幅広い機能を保有することだろう。ここでは主に、他社製品よりも優れた４つの機能を紹介する。

実力その1 フリーレイアウトで自由な見せ方が可能！

メニュー表の画面以外に、アニメーションコンテンツも同意。またメニュー画面は英語、中国語、韓国語など最大10言語に対応、インバウンド対策にも。

「メニウくん」だけの特許技術「フリーレイアウト」で、視覚から食欲を刺激。仕切りがついている固定レイアウトはもちろん、打ち出したい商品をわかりやすく表現できる。メニューデザインは、専門のデザイナーが作成。メニュー作成はワールドビーコム側で請け負う形だ。また、更新頻度の高い日替わりメニューなどは、店舗で作成できる編集機能で対応可能。

こんなお店におすすめ！

- ☐ 人が集まらない！ 採用コストや人件費がかかりすぎている！
  - 「メニウくん」なら、スタッフ１人分の動きをしてくれる！
- ☐ タッチパネル式って壊れやすいからランニングコストが心配…
  - 「メニウくん」なら、強靭性に優れているので壊れにくい！
- ☐ ハンディの使い方教育に時間がかかってしまう！
  - 「メニウくん」なら、オーダーテイクがいらないので採用初日からサービスに入れる！
- ☐ 客単価アップしたいし、回転率も改善したい…
  - 「メニウくん」なら、回転率アップに結実し、客単価UPも夢じゃない！

強靭性に優れた自社製端末が差別化要素

「メニウくん」は世界で唯一、セルフオーダーシステムのために開発された端末であることが最大の強み。

「既存のタブレットが使えることを謳い、ソフト提供のみで低コストのセルフオーダーシステムを提供する企業もありますが、半年の間に何十台もタブレットが壊れ、修理コストがかさむという声もよく聞かれます。一方で「メニウくん」は、飲食店の環境に合わせ、油煙や水、落下などの衝撃に強い強靭性に優れているため、壊れにくくトラブルが少ないのが他社製品との差別化要素です」と堤 義則氏は話す。

導入のための初期投資額はかかるが、他社製品の脆弱性からトラブルとなり「メニウくん」に切り替えるお客も多いという。ハードは5年リース契約が基本だが、その間はほとんど故障もないため、修理によるランニングコストがかかることもなく安心して使える利点が選ばれる要素の一つとなっている。

また2016年3月には「メニウくん」のセカンドブランド「リベルタオーダー」の提供も開始。業界最小7インチサイズで、低コスト導入が可能な新しいセルフオーダーシステムは、主に可動式のテーブルやカウンターがメインであり、電源が確保できない店や小規模店で導入されている。

今後ますます生産人口が減り、人件費も高騰していく情勢のなか、その代替となり、人以上の働きをするセルフオーダーシステムの導入は、飲食店にとって必要不可欠な存在になっていくかもしれない。

0・11回転増、客単価は55円も増加している。

売上げも385・8万円から440・6万円と、54・8万円まで伸張しており、売上げにおける諸経費の割合も軒並み低減。営業利益率が4・6％増加する結果から見ても、セルフオーダーシステムが店の利益増に効果を発揮することは明らかだ。

セルフオーダーシステムは、これまで大手外食企業が運営する回転寿司、焼肉店、居酒屋での導入が主流だったが、昨今の人手不足により個店での導入も増加。特にラーメン店や中華料理店、バーなどファーストオーダーで完結する業態での導入も増加傾向にある。

実力その2 端末の入れ替えが可能な“スワップ機能”付き！

「メニウくん」は、テーブル番号（卓番）を置き台が認識する仕組みのため、端末を入れ替えても瞬時にその卓番の端末として使用できる。例えば、お客が使用している最中に故障しても、別端末を入れ替えれば、それまでの注文データをそのまま引き継いで使うことが可能。端末自体を再設定する必要がないため、ピーク時でもスタッフの作業負担が増えることがない。

実力その3 リアルタイムで店舗状況を把握する“集中管理システム”搭載！

店舗レイアウト通りの画面でチェックイン、パッシング完了、オーダー停止などが色分け表示されるため、レジにいながら全卓の進捗状況が、リアルタイムに把握できる。また飲み放題、食べ放題、ランチメニューなどの表示切り替えもレジで完結。品切れをメニウくん端末に通知し、注文のストップも可能だ。タッチパネルの簡単操作のため、スタッフの作業負担も少ない。

実力その4 オペレーション改善につながる“出数集計機能”を完備！

各商品の出数がわかる一覧表。ABC分析に役立つ。

各商品の調理時間がわかる他、商品別、時間帯別でも閲覧可能。

1日の注文商品の出数を一覧で把握できる「出数集計機能」を搭載。日時、週次、月次による出数の変動などが比較でき、人気商品の傾向を知る手がかりとして活用できる。また、各商品の調理時間と１日の平均調理時間、注文時刻と提供時刻の表示も可能。時間等による調理時間の変化がわかる他、商品設計の見直しなどにも貢献する。

「メニウくん」のセカンドブランド！

個店におすすめの「リベルタ オーダー」

低コスト導入を可能にした、新ブランド。「メニウくん」同様、多機能で高性能ながら、業界最小サイズを実現する。小規模店や可動式のテーブルが主力の店におすすめだ。

横191.5mm×縦109.5mmのコンパクトサイズなうえ、厚さはなんと10.2mmと極薄で、重さも270gと軽量。女性客や子供でも安心して使える設計だ。電源を必要とせず、付属の台に立てるだけと場所も取らないため、卓上を広く使えるのもポイントだ。

充電式で、フル充電で最大6時間は稼動。昼間、仕込みの間で充電しておけば、夜営業が十分まかなえる。電気工事が不要なため簡単に導入でき、低コストを実現する。